

12日 水曜

出エジプト



16:1 ついで、イスラエル人の全会衆は、エリムから旅立ち、エジプトの地を出て、第二の月の十五日に、エリムとシナイとの間にあるシンの荒野にはいった。

16:2 そのとき、イスラエル人の全会衆は、この荒野でモーセとアロンにつぶやいた。

16:3 イスラエル人は彼らに言った。「エジプトの地で、肉なべのそばにすわり、パンを満ち足りるまで食べていたときに、私たちは主の手にかかって死んでいたらよかったのに。事実、あなたがたは、私たちをこの荒野に連れ出して、この全集団を飢え死にさせようとしているのです。」

16:4 主はモーセに仰せられた。「見よ。わたしはあなたがたのために、パンが天から降るようにする。民は外に出て、毎日、一日分を集めなければならない。これは、彼らがわたしのおしえに従って歩むかどうかを、試みるためである。」

16:5 六日目に、彼らが持って来た物をととのえる場合、日ごとに集める分の二倍とする。」

16:6 それでモーセとアロンは、すべてのイスラエル人に言った。「夕方には、あなたがたは、主がエジプトの地からあなたがたを連れ出されたことを知り、

16:7 朝には、主の栄光を見る。主に對するあなたがたのつぶやきを主が聞かれたのです。あなたがたが、この私たちにつぶやくとは、いったい私たちは何なのだろう。」

16:8 モーセはまた言った。「夕方には、主があなたがたに食べる肉を与え、朝には満ち足りるほどパンを与えてくださるのは、あなた

がたが主に対してつぶやく、そのつぶやきを主が聞かれたからです。いったい私たちは何なのだろうか。あなたがたのつぶやきは、この私たちに對してではなく、主に對してなのです。」

16:9 モーセはアロンに言った。「イスラエル人の全会衆に、『主の前に近づきなさい。主があなたがたのつぶやきを聞かれたから。』と言いなさい。」

16:10 アロンがイスラエル人の全会衆に告げたとき、彼らは荒野のほうに振り向いた。見よ。主の栄光が雲の中に現われた。

せつかく救い出していただいたのに、「死んでいたらよかったのに。」とは何という言いぐさでしょうか。しかし本心なら、食べ物のごとつぶやいたりしないでしょ。生きたいので、そのようなことを言うのです。また不満ややるせなさを誰かにぶつけたいでしょう。

神様はなぜ、食べ物豊富なところへと導かなかったのでしょうか。それはイスラエルの民の信仰を試し、そして育てるためです。神様によって養われるのだということをつからせるためです。

私たちも同じで、自分の能力でやっさと勘違いしないように、神様は私たちに試練を与えられるのです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

